

桑名間税会だより
第28号
発行
平成23年1月25日
編集責任者: 後藤繁夫

年頭のごあいさつ

名古屋国税局 課税第二部長 早川 恵久



平成23年の年頭に当たり、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

桑名間税会の会員の皆様には、日ごろから会活動を通じて、税務行政に深いご理解と格別のご協力を賜り、厚く御

札申し上げます。

新年を迎えられ貴会におかれましては、より一層会員の輪を広げられるとともに、魅力ある事業活動を通じて地域社会の発展に貢献されますことを期待しております。

また、貴会は、間接税を中心として正しい税知識の普及と納税道義の高揚に多大な貢献をされてこられました。特に消費税につきましては、平成元年の導入時における「定着推進運動」や「消費税の完納運動の推進」など、税務行政の円滑な運営のため、様々な活動に積極的に取り組んでいただき、今や消費税は国のみならず、地方の財政を支える重要な柱に育ってまいりました。

皆様方の献身的な活動並びに役員及び会員の皆様方の長年にわたるご尽力に対しまして、深く敬意を表する次第であります。

さて、最近の税務行政を取り巻く環境は、少子・高齢化の進展や経済のグローバル化・IT化により大きく変化しています。このような環境の中で、適正・公平な課税及び徴収の実現に向けて、私どもに与えられた使命を着実に果たすため、限られた人的・物的資源を最大限活用していくとともに、我々税務職員一人一人が高いモラルを維持し、一般の納税者の方々には親切かつ丁寧な態度で接する一方、悪質な納税者に対しては厳正な姿勢で臨むことにより、税務行政への理解と信頼を得ていく必要があると考えています。

こうした考えの下、e-Tax(国税電子申告・納税システム)をはじめとしたIT化や内部事務の一元化の取組などにより、組織の事務の効率化を進めています。特に、e-Taxについては、納税者利便の向上や事務の効率化に資するものであることから、その普及拡大を国税庁における最重要課題の一つとして積極的に取り組んでいるところであります。

今後とも会員の皆様ご自身や主宰企業はもとより、一人でも多くの方々にe-Taxをご利用いただけますよう、地域の皆様へのPRも併せ、利用促進に向けまして更なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たりまして、桑名間税会のご発展と会員の皆様方のご健勝並びに事業の益々のご繁栄を祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。

新年のあいさつ



桑名税務署長 山口 育洋

新年あけましておめでとうございます。

平成23年の新春を迎え、桑名間税会会員の皆様には、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

間税会会員の皆様には、日ごろから税務行政に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

桑名税務署への着任以来、役員の皆様方をはじめ、多くの会員の方々と親しく接する機会に恵まれ、その都度、貴重なご意見等をいただきました。改めて間税会活動に対する皆様の熱意と姿勢を肌で感じる事ができ、大変心強く感じました次第であります。

特に昨年は、桑名税務署管内の中学校一年生を対象とした「税の標語」の募集活動に新たに取組んでいただきました。この取組みは、間税会の活動を地域社会にアピールするとともに消費税をはじめとする税の啓発活動の推進に大変効果的であると考えておりますので、今後も引き続き積極的な取組みをよろしく申し上げます。

さて、最近の税務行政を取り巻く環境は、少子・高齢化の進展や経済活動のグローバル化・IT化に伴う社会構造の変化により、調査・徴収事務は、複雑・困難化がさらに進行している状況に直面しています。

このような厳しい状況の中で、国の活動を支える歳入確

保のため、「適正・公平な課税及び徴収の実現」という税務行政の任務をしっかりと果たすことにより、納税者である皆様の負担に添えていきたいと考えております。

具体的には、我々税務職員一人一人が高いモラルを維持し、法令に沿った適正な課税・徴収を行うとともに、悪質な脱税や滞納に対しては厳正な姿勢で臨む一方、善良な納税者に対しては親切・丁寧な対応をすることで税務行政の信頼感と公平感を保つことができるよう努力を重ねてまいります。

さらに、限られた定員・予算の下、ITの活用などを進めることにより、納税者の皆様の利便性の向上を図りつつ、より一層の事務の効率化を図っていく必要があることから、国税庁のホームページを通じて情報提供などITを活用した納税者サービスを充実させるとともに、各税務署では納税者の皆様の受付窓口を一本化するワンストップサービスを実施しております。

また、機会のあることに利用のお願いをしております「国税電子申告・納税システム(e-Tax)」の普及・拡大については、納税者の皆様の利便性の向上はもとより、事務の効率化のためには必要不可欠なものであることから、私ども国税庁の当面の最重要課題として掲げ、局署を挙げて取り組んでいるところであります。

桑名間税会の皆様方には、既に「e-Tax」の利用拡大に向け、様々なご協力をいただいているところではありますが、更なる利用拡大に向けまして、引き続きご協力をよろしく願います。

さて、今年も間もなく所得税等の確定申告の時期を迎えますが、税務署では、納税者自らが申告する「申告納税制度」を支える観点から、申告に必要な情報等を提供するため、国税庁ホームページの充実などITを活用した納税者サービスの提供に努めております。

特に、ホームページ上の「確定申告書等作成コーナー」は、わかりやすく、簡単に申告書の作成と電子申告ができるようになっておりますので一人でも多くの方にご利用いただけますようお願いいたします。

最後になりますが、桑名間税会様の更なる発展と会員の皆様方のご健勝並びに事業の益々のご繁栄を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

税連協・ボーリング大会

平成22年11月22日

桑名税務連絡協議会のボーリング大会。昔は、皆さん若かったのでソフトボール大会だったと思うのですが、20年ほど前からは現在のボーリング大会となった記憶があるのですが・・・。

場所はマイカル桑名のボーリング場。今年も山王隊長ほか、佐藤（輝）、水谷（しじみママ）、蛭川（直）、そして傭兵の水谷（公）の精鋭4名をメンバーとして派遣した。



おかげで、団体戦・3位入賞、賞品のビールは誰が持ち帰ったのか？。ちなみに団体優勝は桑名商工会議所チームでした。

税を考える週間 街頭宣伝活動



で見事に対応。無事、ビラを配り終えました。

平成22年11月10日 毎年恒例、税を考える週間の恒例の事業「桑名税務連絡協議会の街頭宣伝活動」に、桑名間税会からは、後藤会長・辻内副会長・女性部中村部長・同後藤副部長らが参加してまいりました。

慣れないビラ配りの上、「いったい何のビラ？」みたいな買い物客に多少てこずりながらも、満面の笑み

2010 税の標語・入賞作品

桑名間税会会長賞

いなべ市立藤原中学校 片山 友香 たくさんの暮らしを支える 消費税

桑名税務署署長賞

桑名市立明正中学校 幸明 真由佳 消費税 明るい暮らしの 活力に

三重県間税会連合会会長賞

いなべ市立員弁中学校 水谷 菜花 私の払った消費税 正しく使って 日本のために

桑名間税会優秀賞

桑名市立明正中学校 水谷 朱里 みんなの税金！正しく使おう！きちんと払おう！
 桑名市立正和中学校 中村 仁美 一円も無駄にしないで みんなのために
 桑名市立陵成中学校 宇佐美 日苗 税のこと 知って得する お買い物
 桑名市立光陵中学校 稲川 美夏 税金は、みんなのための お金です。
 いなべ市立藤原中学校 佐藤 まりん 税金がなくて社会の基盤なし
 桑名市立光陵中学校 早川 朋志 税金で 変えていこうよ この日本



桑名税務署管内 中学一年生・税の標語

平成22年11月14日

毎年恒例の桑名納税貯蓄組合の「税に関する習字と作文」の募集、これに合わせた形で、本年初めて間税会は「税の標語」を募集しました。当日桑名市民会館ホールで税を考える週間に実施されています桑名法人会の「子ども税金クイズ大会」の中で、優秀な作品を表彰いたしました。

企業見学税務研修会

平成22年2月17日



当日の昼に、一行32人は大型バスで一路奈良へ。目的地は長龍酒蔵(ちりゅうりょうしゅぞう)。まず車中で税の標語を全員で一人10個考えて提出して頂き、提出が終了した方から飲み物(酒類)とおつまみが解禁になる。酒税に協力するためにたくさん飲まねばならない。参加者の三分の一は女性。

その華やかな笑い声が車中に広まり出す。

今回も、長栄堂さんが、自慢の草餅を差し入れてくれた。「この草餅で、酒を飲むのがたまらん」という通もいる。

今回は、小雪の宣伝する「角のハイボール」がよく売れた。2時間ほどで長龍酒蔵に到着、酒蔵見学説明を聞いた後にお待ちかねの試飲。「うまい！」「いける！」の声があちこちで、つまみに出されたチーズの麹漬け奈良漬けもうまかった。この広報の方がさわやかで、気持ちの良い酒屋さんでありました。

さて締めは、奈良の地鶏「ためひめ」。ここで鳥鍋、焼き鳥、つくね、唐揚げなど地鶏づくしを味わう。少し濃いめのだしに弾力のある地鶏が合う、濃厚な出汁が出てくる。しめは雑炊で、ああ満腹。

帰りももちろんバスの中で飲み放題。心地よい呑み疲れに体を任せて帰りました。今年も、ごちそうさまでした。

